

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会函館支部青年委員会 事業名 ものづくり体験講座「マイ箸を作ってみよう！」

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 一般の方や子供たちに建築士や建築士会の活動を知ってもらいながら木のあたたかさを知ってもらう。

●活動目的
 一般の方や子供たちに建築士や建築士会のPR 地域貢献 青年委員会の絆づくり

●活動内容と成果
 【日時、場所】平成28年4月 9日 函館篇谷書店 2階
 平成28年7月30日 函館市勤労者総合福祉センター(サンリフレ函館) 2階
 【内容】ものづくりの楽しさ、デザインすることの楽しさ、木という資源の大切さ、ものを大事にするという気持ち、箸という道具の素晴らしさ、また箸という道具を生み出した日本文化の素晴らしさ等々を建築士を通して伝える。
 【成果】建築士会の活動をPRしつつ、木のあたたかさや物を作る楽しさが伝わったと思います 大変楽しんでもらいました。

●集客方法
 篇谷書店のホームページや函館市の広告誌のまなびっとに載せたりフェイスブックやSNSを利用しての告知等。

●活動収支	収入	東西アスファルト事業協同組合100,000円+函館支部青年委員会60,000円	支出	152,188円
-------	----	---	----	----------

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		30							39	

連携・協力組織 東西アスファルト事業協同組合



写真①



写真②

●今後の課題
 もっと浸透しやすい建築士会のPRや挨拶の仕方を考える

●今後の計画
 恒例行事のように地元の方に認識してもらえるよう定期的を開催する。一緒に活動できる仲間づくりをしていきたいと思っています。

問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 函館支部青年委員会	担当者	林 裕馬
連絡先	TEL 0138-27-6858 FAX 0138-27-6859	e-mail	yuuma1214427@gmail.com
ホームページアドレス			

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む)	北海道建築士会 室蘭支部青年委員会	事業名	室蘭支部視察研修会
------------------	-------------------	-----	-----------

● 活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

● 企画運営団体 上記建築士会名 その他()

● 活動の背景

近年の建設業界では全体的に建築士の人員不足が問題となっています。室蘭市内建築業者を対象に建築士の活動や各地域の建築物の見学等の体験して頂き、建築士の事に興味を持ってもらうきっかけになれば！と思い活動を始めました。

● 活動目的

建設業界では、若手建築士の人員不足が問題となっており、視察研修会を通して建築士の活動や楽しさを体験してもらい、建築士の会員増強のきっかけになるような企画をしたいと思っております。

● 活動内容と成果

平成28年度は、全道大会が室蘭で行われた為、視察研修会は行いませんでしたが、平成27年9月19日(土)に、紋別市にて、第40回(一社)北海道建築士会全道大会「紋別大会」に参加し、翌日、9月20日(日)に、室蘭支部視察研修会を行いました。
 建築士会会員以外の参加者は2名と少数でしたが、北海道立オホーツク 流水科学センター「G i Z A」・道の駅 オホーツク紋別 氷海展望台 オホーツクタワー等の建築物の概要の説明や施設の見学を行いました。
 建築士の活動に直接参加して貰うことにより、建築士の楽しさやアピールが出来たのでは？と感じております。

● 集客方法

建築士会室蘭支部だよりにて参加者募集。建築士会会員による声掛け等。

● 活動収支	収入	-						支出	120,000円
--------	----	---	--	--	--	--	--	----	----------

● 来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	準会員	-	計
		17				-	-	2		19

連携・協力組織 市内建設業者・建築士会会員



写真①



写真②

● 今後の課題

今後は、会員以外の参加者を積極的に募り、建築士の会員増強を目指し、運営を検討していきたいと思っております。

● 今後の計画

平成29年度も継続で実施予定です。会員以外の参加者をより多く募集する為に、支部だよりや会員による声掛け、市内建設会社等の機関と実施時期や内容等の密な調整を行い、目的に合う活動をしていきたい。

問い合わせ先	北海道建築士会 室蘭支部青年委員会	担当者	旗澤 準一
連絡先	TEL 0143-45-1180	FAX 0143-45-1180	e-mail banzawa@kamio-kk.co.jp
ホームページアドレス			

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 ■北海道ブロック □東北ブロック □関東甲信越ブロック □東海北陸ブロック □近畿ブロック
□中四国ブロック □九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会 苫小牧支部 事業名 建築のお仕事体験イベント in 苫小牧

●活動の種別 □建築物調査、保存・再生 □景観形成、街並み保存・修景 □地域活性化 □教育・人づくり
□防災まちづくり □ユニバーサルデザイン □環境保全 □住まいづくり □住環境整備 □会員拡大
■建築士(会)の周知 ■次世代育成 □その他()

●企画運営団体 ■上記建築士会名 ■その他((一社)北海道建築士会 道南ブロック)

●活動の背景
建築は衣食住の「住」に密接に関わり、とても重要な職業である。小学生やより小さい子供達に「建築士」に対して、夢や憧れを抱いていただけるような活動が重要であると考え、青年委員会で行っている建築士の日イベントの全道展開として苫小牧でも『建築士のお仕事体験イベント』を開催。

●活動目的
建築士の仕事・建築士会の活動を広く一般市民に理解してもらうとともに、将来『建築士』を目指してもらえよう体験型のイベントを行う。また、苫小牧工業高等学校の生徒にも参加してもらい、更に現実的な目線で建築士会の魅力をPRする。

●活動内容と成果
平成28年11月19日、MEGAドン・キホーテ苫小牧店にて下記内容のイベントを開催。
来場者数 子供66名 保護者33名 計99名
苫小牧工業高等学校建築課研究同好会に協力して多くの子供に建築士の仕事を体験してもらい、建築士・建築士会のアピールをすることができた。
建築士のお仕事体験イベント
①『ブロックのお家で街並みを作ろう』(35名参加)
②『パズルでお部屋を考えよう』(12名参加)
③『スチレンボードでお家を作ろう』(28名参加)
札幌でのイベント同様、お仕事の給料としてイベント通貨『チーク』を渡し、駄菓子・文房具などと交換できる。

●集客方法
①会場でのポスター掲示②会員による呼びかけ

●活動収支 収入 支部予算75,000円 東西アスファルト事業協同組合協賛金85,000円 支出 128,044円

●来場者	運営側	収入			参加者	支出				計
		建築士会	他団体	計		会員	建築士	一般	子ども	
		21	9	30	—	—	33	66	99	

連携・協力組織 後援：苫小牧市 MEGAドン・キホーテ苫小牧店 協賛：東西アスファルト事業協同組合
協力：苫小牧支部・道南ブロック



写真① 会場全景



写真② 苫小牧工業高等学校生との集合写真

●今後の課題
前年に函館しての苫小牧開催となった。道南5支部で持ち回りで行うとすると4~5年に1度になってしまう。理想としては年1度の開催が望ましいが、青年委員のメンバーが少なく負担が大きいため今年度以降開催できるかが不透明。

●今後の計画
平成26年度から全道展開となった建築士のお仕事体験イベント。道南ブロックでは2年連続開催できたので継続していきたい。また、苫小牧支部として今後継続して行くかは検討中。

問い合わせ先 (一社)北海道建築士会 苫小牧支部 担当者 永井 裕史
連絡先 TEL 0144-55-2192 FAX 0144-55-4798 e-mail hironaga116@yahoo.co.jp
ホームページアドレス <http://www.iwakura-corp.jp/>

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 ■北海道ブロック □東北ブロック □関東甲信越ブロック □東海北陸ブロック □近畿ブロック
□中四国ブロック □九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社)北海道建築士会 日高支部 事業名 ちびっ子建築士の絵画コンクール

●活動の種別 □建築物調査・保存・再生 □景観形成・街並み保存・修景 □地域活性化 ■教育・人づくり
□防災まちづくり □ユニバーサルデザイン □環境保全 □住まいづくり □住環境整備 □会員拡大
■建築士(会)の周知 ■次世代育成 □その他()

●企画運営団体 ■上記建築士会名 □その他()

●活動の背景
地域における建築士の担い手不足が課題となっている。

●活動目的
こどもの将来の職業の選択肢の一つに「建築士」を加えてもらうことを目的とする。

●活動内容と成果
日高管内7町の27小学校を訪問し、「ぼくの家・わたしの家」をテーマとした絵画コンクールを開催する旨説明したうえで、対象となる小学校4年生(594名)全員分の応募用紙を配布。夏休みが明けける8/26(金)を締切として応募作品を回収。60点の応募を受け、支部青年委員による厳正な審査を行い、支部長賞1点、金賞3点、銀賞5点、銅賞10点を選定。新ひだか町地域交流センターピュアプラザにて、8/30(火)～9/26(月)まで応募作品を展示し、9/24(土)に同施設で、表彰式を開催。受賞者19名中11名出席。親族・関係者を含め、40名程度の規模で表彰式を実施。

●集客方法
対象者全員に応募用紙を配布。

●活動収支	収入	なし				支出	100,000円			
-------	----	----	--	--	--	----	----------	--	--	--

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		5	0	5		0	5	15	20	40

連携・協力組織 なし



写真① 日高報知新聞(H28.9.27)掲載記事

写真② 表彰式での記念写真

●今後の課題
応募者数の減少

●今後の計画
平成29年度も継続実施。(①7月上旬～各町に応募用紙配布 ②8月末～作品回収 ③9月上旬～作品展示 ④9月中旬～表彰式)

問い合わせ先 日高支部青年委員会 担当者 森 勝利
連絡先 TEL 0146-43-2111内線235 FAX 0146-43-3900 e-mail keiyaku@shinhidaka.hokkai.jp
ホームページアドレス